## 「グループ経営方針2023」

環境変化への対応,企業体質の変革

# 人財戦略

「グループ経営方針2023」の2つの目標である「持続的な高成長を実現する事業の変革と事業ポートフォリオの変革」および 「環境変化への対応,変革を実現しうる企業体質への変革」の達成に向けて「グループ人財戦略2023」を策定し、実行しています。

### グループ人財戦略2023の基本コンセプト

### 将来の目指す姿

事業の変革と企業体質の変革を実現するためには、「良 い+強い|会社と個人の「成長+幸せ|を両立させることが 重要だと考えています。IHIグループは、新しいリーダー シップと素早い自己変革能力を併せ持ち目標達成にコミッ トするとともに、従業員の成功や幸せと新たなパートナー シップを通じて人間尊重を大切にすることで顧客・産業・ 社会の課題を解決できる組織と人財づくりを推進します。

#### 重点課題と重点施策

将来の目指す姿の実現に向けて、2023年度を評価軸、 時間軸,関係性の転換点と位置付け,3つの重点課題と 11の重点施策に取り組み、すべての従業員に行動変容を 促し,変革を達成できる組織文化の醸成を図ります。

### <変革達成に向けた組織文化への転換>

評価軸:従来のやり方の延長線での改善が中心

→変革への挑戦を奨励

時間軸:時間をかけてでも完璧を追求することが優先

→スピード重視

関係性: 自部門や社内の閉じたネットワーク内が主

→新たな関係構築

### ●人財戦略: 日指す姿

"「良い+強い |会社"

両立

"個人の「成長+幸せ」"

# 新たなリーダーシップ Leadership



「グローバルに通用する経営人財・専門人 財」が、組織・プロジェクトにリーダーシップを 発揮するとともに,他の各人も自身をリード できるようレベルアップ

# 従業員の成功/幸せ **Employee Success**



多様で自律的な人財が、互いに尊重・共感・ 成長できる自己現実の場として集い,健康 な生活を送りながら,自然に組織貢献意欲 も増大

変革への挑戦を 評価する

制度改革と風土醸成

✔ 評価軸

✓時間軸

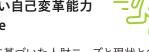
転換

✓関係性の

人間尊重

# 素早い自己変革能力 Agile

目標達成



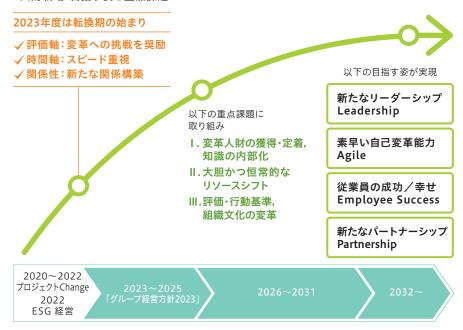
戦略に基づいた人財ニーズと現状とのギャッ プを常に把握し、機動的・継続的なリソース 獲得・配置を実現するために、各組織のマ ネージャー・人事関連部門における人財・ 組織マネジメントをレベルアップ

新たなパートナーシップ Partnership



常に全グループ社員の一人ひとりまで丁寧 かつ確実に戦略や方針が展開・共有・浸透 され, 個人と組織が対等な関係の元, お互い の成長に貢献し合うとともに、多様なステー クホルダーとも連携・協働

#### ●人財戦略:目指す姿と重点課題



### ●人財戦略:重点課題と重点施策

| 重点課題                             | 重点施策  | ポイント   |
|----------------------------------|---|--|
| I. 変革人財の<br>獲得・定着,<br>知識の<br>内部化 | 1)組織的な変革人財の獲得<br>2)変革人財の育成・配置(IHI<br>アカデミー)   | ・IHIグループの知見が不足している分野に散発的ではなく組織的に外部から変革人財を獲得し、定着させ、さらにその知識の内部化を図る。<br>・採用は、労働市場に合わせた対応体制・活動に変更する。・外部からの変革人財は、職務定義、指揮命令系統などの面で、通常と異なるメネジメントを行なう。               |
| II. 大胆かつ<br>恒常的な<br>リソース<br>シフト  | 3) 組織的なリソースシフトのプロセス確立<br>4) 組織的なリスキリングの仕組み<br>5) 自律的なキャリア形成の促進  | ・緊急性・重要性の高い「中核事業の特定のLCB部門」<br>や「特定事業」、「本社系部門」などの人財要件を把握<br>し、集中的にリソースシフトする。<br>・リソースシフトのプロセスを早急に確立し恒常的なも<br>のとして運用していく。<br>・自律的なキャリア形成とリスキリングを組織的に進<br>めていく。 |
| III. 評価・行動<br>基準,<br>組織文化の<br>変革 | 6) 評価・処遇のあり方変更<br>7) 「管理職」の人財マネジメントカ向上<br>8) 従業員エンゲージメントの向上<br>9) ESG・ウェルビーイングを軸と<br>する組織文化の醸成<br>10) 多様な人財の活躍(DE&I)<br>11) 人権の尊重 | ・「挑戦の奨励」、「お客さまへの迅速な対応」など統一的な行動基準・評価項目を整理し、評価と育成・処遇との結びつきについて改めて制度の見直しを行なう。<br>・ESG・ウェルビーイングを軸とする評価基準を各種の施策に織り込み、組織文化として醸成を図る。                                |

### IHIアカデミーの機能と役割

人財ポートフォリオ転換の取組みとして,変革リード 人財を特定し、徹底して磨くことを目的として、CEO直属 の組織としてIHIアカデミーを新設しています。IHIアカ デミーでは、2025年度までの今後3年間で600人の変革 リード人財を発掘・育成し、選抜された人財はプログラム の終了を待たずにグループ内外の社長など高難度ミッ ションにチャレンジします。IHIグループが求める変革リード 人財は、トランスフォーメーションを起こせる経営幹部人 財および事業変革(事業変革 LCBの深化と進化,成長事 業の創出)を技術面でリードする高度な専門家(従来領域: 設計・生産・品質のプロフェッショナル / デジタル領域:Al スペシャリスト,データサイエンティスト)と定義しています。

### 人事部門のケイパビリティ強化

グループ経営戦略に連動した人財戦略を完遂させる ために、人事部門と事業部門との連携をより緊密にする ため、2023年4月に人事部の組織改編を行ない、その機 能を大幅に拡充しています。

人財戦略の全社的な遂行と進捗確認のため,人事部 内に組織開発グループを新設し,事業部門との連携を 強化するとともに、経営戦略や人財戦略の目指す姿や 重点課題の浸透活動の企画·立案·実施に加えて[H] グループの組織活性化,従業員エンゲージメント向上 施策・制度の策定を担っています。

|H|グループにおける人事領域のデジタルトランス フォーメーションを推進するためHRDXグループを

新設し,グローバル統合型のHRプラットホームの構築 と運営を進めています。

新設された人財開発グループでは、従業員のキャリア 開発・能力開発の推進、リスキリング・人財育成関連施 策の立案および事業部門が実施する人財育成教育を支 援しています。IHIを離職した人財とグループ内人財の 交流を目的とした[H]アルムナイネットワークの運営も 行います。

ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンを 包括的に推進するため、DE&Iグループを新設、「IHI グループ人権方針 | に基づく人権啓発推進. ダイバー シティ推進のための人事施策の立案・実施および ウェルビーイング向上のための施策の立案・実施を 担います。